目標⑥　人がつながりかがやく　15

52　人生100年時代を健康で心ゆたかに暮らすことができるために、生涯学習、各種教室、市民団体の育成を進めます。
53　「ウィンドオーケストラ（吹奏楽）のまち羽曳野」を掲げ、若い音楽家の育成に努めます。
54　多くの市民が気軽にコーラス(合唱）に参加できる環境を創出し、「誰もが音楽家のまち羽曳野」を目指します。
55　子供から高齢者まで誰もが参加できる文化・スポーツ統合型クラブチームを結成し、楽しくプロを目指せる環境を目指します。
56　ダンスやチアリーディングの活躍できる場を最大限提供し、若い人々が目的を持って輝けるまちを目指します。
57　竹内街道わらべ歌、タケルくん音頭、河内音頭など地域芸能文化がかがやく場の提供、まちづくりを目指します。
58　大消費地（大阪）にある特性を活かし、高価格帯の農作物や花の栽培を支援しはびきのブランド創出を目指します。
59　市内に点在するスポーツ施設を活用し、各種スポーツ大会の主催、誘致による地域活性化に取り組みます。
60　古民家、指定文化財などを活用し民泊や古民家カフェなどを希望する事業者への支援を行います。
61　観光ボランティアの皆さんがいきいきと輝き、次世代の担い手を育成できる環境づくりを目指します。
62　パイプオルガンのある府内唯一の公共施設としての特性を活かし、ＬＩＣはびきの のブランド化を進めます。
63　まちの賑わい創出のため魅力ある個店や商店会の支援策を官学民一体で進めていきます。
64　羽曳野で起業を目指す方々を支援するしくみを新たに構築していきます。
65　市民表彰制度を再検討し、市のために活躍いただく市民の方々をより大切にする市政にしていきます。
66　多様な働き方（ダブルワーク.トリプルワーク、在宅ワーク、シェアオフィス）に対応した取り組みを行います。

目標⑦　くらしの基盤強化　21

67　世界文化遺産のまちの顔として古市駅前整備に着手し、賑わいを創出します。
68　恵我之荘駅前踏み切りの拡幅を実現させ、車歩道分離による安全なエキマエ環境をつくります。
69　島泉地区の幹線道路整備（府道八尾富田林線）を早め、地域の防災対策、利便性の向上を図ります。
70　高鷲駅前周辺で人が賑わうイベントを行政と地域が協働で実施し、賑わいを創出します。
71　計画道路市道東大塚美陵線（中央環状線ー藤井寺駅前）の延伸による土地利用の活性化に努めます。
72　埴生地区の中央スポーツ公園、青少年グランド、はびきのコロセアムを歩道のある幹線でつなぎ地域活性に努めます。
73　丹比地区ー恵我之荘駅間の公共バス路線の増設で宅地化が進む丹比地区の利便性向上を進めます。
74　羽曳が丘を愛する住民が終（つい）の住み家としていつまでも暮らすために利便性の向上と高齢者施設の誘致を進めます。
75　道の駅しらとりの郷周辺の商業地化を進め、「にぎわう道のエキマエ」をつくるとともに渋滞の解消を進めます。
76　地域の世代間交流に大切な役割を持つ「だんじり文化」の継承に、市がもっと支援できる体制に変えていきます。
77　西浦地区の土地利用を活性化させ、人が集まりにぎわう地域づくりを目指します。
78　買い物、通院のための無料バス運行を、スーパーマーケットなどの事業者と提携し、実現を目指します。
79　駒ヶ谷駅前にコンビニエンスストアを誘致し、住民の利便性を高めます。
80　上ノ太子駅、東側改札（羽曳野市側）を竹内街道観光拠点駅として美観整備に取り組みます。
81　羽曳が丘ー藤井寺駅間のバス路線の夜間最終時刻の維持と延長に取り組みます。
82　関空シャトルバスの新路線（古市駅ー埴生地区ー丹比地区ー三国ヶ丘ー南海堺駅ー関西空港）実現に取り組みます。
83　生活や新しいビジネスに対応するため、フリーWiFi環境の整備を進めます。
84　上下水道管の検査、入れ替え工事を行い、老朽化による漏水事故を未然に防ぐ体制を進めます。
85　空家の家主と起業を希望する人との仲介ができるしくみをつくり地域の活性化を進めます。
86　就職などで故郷を一度離れた元羽曳野市民が家族の介護などでＵターンされる際の助成制度を創設します。
87　市営火葬場を持たないため他市に比べ負担の大きい葬儀代について独自の見舞金制度を策定します。

目標⑧　ともにつくる自治体　21

88　市民の声にもっと耳を傾け住民が参加意識を持てる、みんなでつくる羽曳野市に生まれ変わらせます。
89　交流人口（観光客）や関係人口（仕事などで関わる人）などを増大させ、人口減少社会に立ち向かいます。
90　市役所内の住民サービス機能を古市駅周辺に移設し、住民サービスの向上に努めます。
91　市民や市民団体、企業や大学との連携を強め、新しい社会に適合した共につくる自治体運営に変えていきます。
92　市民により近い市政運営を目指し、各所に出張所を設置し、地域の課題を吸い上げやすくしていきます。
93　わかりやすく読んで楽しめる情報誌としての「公報はびきの」をグレードアップ
94　ＳＮＳやＩＣＴを活用し、市民と双方向でつながる新しい情報発信に努めます。
95　市公報掲示板を増やし、より多くの市民に早く、的確に必要な情報を届けられる体制をつくります。
96　陵南の森総合センターの老朽化した施設、物品改修をし、もっと利用者に愛される施設を目指します。
97　はびきのコロセアムの駐車場料金の見直しを行い、施設来場者が利用しやすい施設に変えていきます。
98　エコプラザはにふ（緑と市民の協働ふれあいプラザ）をもっと魅力的な施設運営を目指します。
99　峰塚公園の駐車場料金の見直しを行い、公園利用者が時間を気にせず散策できる料金体系に変えていきます。
100　時とみどりの交流館（峰塚公園管理棟）を市民や観光客が魅力を感じられる施設に変えていきます。
101　すべての人権が尊重され、共に認め合い幸せに暮らせる社会づくりのため、人権尊重のまちづくりを進めます。
102　性別の隔てなく活躍できる社会の実現にむけて男女共同参画の拡大に取り組みます。
103　市役所内や学校園、公共施設等での多言語表記化など、外国人市民がくらしやすいまちを目指します。
104　在住外国人の方の負担軽減のために必要書類の記入がひらがな、漢字だけでなくローマ字での記入ができるようにします。
105　効率的な行政運営を目指し、ＡＩ（人口知能）やＲＰＡ（事務自動化システム）、電子決済などに積極的に取り組みます
106　新施策の財源を確保するため無駄を省き、公有財産の有効活用に更に取り組みます。
107　市民に開かれた自治体運営を目指し、民間でできることはなるべく民間へと公民協働の取り組みを進めます。
108　コロナ渦後の厳しい財政運営の中で、持続可能な次世代に負担を先送りしないために聖域なき行政改革に取り組みます